

# 谷本地区

谷本地区は、エリアの北部に田園都市線「藤が丘駅」と国道246号線が東西に走り、東名高速道路「横浜青葉インター」があるなど、主要な交通手段が身近に存在しています。各自治会町内会で防災訓練を積極的に行い、「大丈夫手ぬぐい」の普及啓発をしています。また、身近な地域で新たなつながりができるように高齢者サロンや子育てサロンを実施しています。各世代に合わせた情報発信にも力を入れています。



地区内の町丁目 梅が丘、下谷本町、千草台、藤が丘一丁目、藤が丘二丁目

## 第3期計画の振り返り

- 誰もがつながりを持てるように、世代を超えて地域に溶け込んでもらう工夫が必要。
- 交流の機会や、見守りの輪が広がってきている。気になる情報をキャッチしたら誰かに届けることが大切。
- 自治会館がもっと活用されるといい。
- いざという時のために、あいさつなどの近所づきあいや、「大丈夫手ぬぐい」の活用などを進めていきたい。
- 障がい者や認知症への理解を深める機会があるといい。



## 推進会議の主なメンバー

連合自治会、単位自治会町内会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、老人クラブ連合会、連合子ども会  
担当地域ケアプラザ：もえぎ野地域ケアプラザ

## 地域で行われている活動



子育てひろば



連合体育祭



大丈夫手ぬぐい

5年後にめざしたいまちの姿

## 誰もが地域のつながりを深め、 お互いに助け合える優しいまち

### 目標1 つながるきっかけを増やそう！



取組

- 地域の誰もが、行事に積極的に参加できるよう促し、交流の輪を広げる
- 転入者や子育て世代に、声かけをしながら、つながりのきっかけを作っていく
- 様々な世代の人たちに関心を持ってもらえるように、世代に合わせた情報発信を進める
- 各イベント、行事の役割を分かりやすく整理し、誰もが力を発揮できる場面を設定する
- 「地域であったらあいさつをしよう」という気持ちを、地域のみみんなで共有するために、各自出来る範囲でのあいさつ運動ができるように仕組みを作る

### 目標2 見守り・付き合いを一歩進めよう！



取組

- 地域活動を通して、住民や団体同士の横のつながりづくりを進める
- 地域活動や社会参加をつうじて、心と身体の健康づくり、生きがいつくりに取り組む
- 商店やスーパー、コンビニ等との連携を図り、地域のつながりを深める
- 認知症の人や障がい児・者が暮らしやすい地域にするために、交流の機会などを通じて理解啓発をしていく
- より安心して暮らせるまちに向けて、団体や活動等のつながりを活かして、子ども、高齢者、障がい児・者などへのゆるやかな見守りの輪を広めていく

### 目標3 災害時に誰もが安全に避難できるように 協力し合っていこう！



取組

- 災害種別ごとの避難方法等を分かりやすく周知し、高齢者や障がい者などの要援護者が災害時に安全に避難できるようにする
- いざという時に備えて、防災訓練の広報等を充実させ、様々な世代が参加できるようにする
- 「大丈夫手ぬぐい」等の訓練を定期的に行い、地域の防災活動に関わってくれる人を増やす